

京都市市民生活実感調査 調査票

生活実感

質 問		選 択 肢				
		そう思う	どちらかという そう思う	どちらとも 言えない	どちらかという そう 思わない	そう 思わない
環境	Q 1. 京都の子どもたちは、山紫水明の自然環境をかけがえのないものと実感している。	a	b	c	d	e
	Q 2. 省エネや省資源に取り組むひとや、徒歩、自転車、公共交通機関を利用するひとが増えている。	a	b	c	d	e
	Q 3. マイバッグやリサイクル製品など、ごみを出さないようなくらしと事業活動が広がっている。	a	b	c	d	e
	Q 4. ごみを分別して出せる拠点が身近にあり、ごみのリサイクルが進んでいる。	a	b	c	d	e
人権・男女 共同参画	Q 5. いきいきと活動して自分の能力を発揮する場所や自分に合った働き方を見つける機会がある。	a	b	c	d	e
	Q 6. 女性に対する暴力や性的いやがらせが根絶された社会になってきている。	a	b	c	d	e
青少年の成長と参加	Q 7. 青少年が社会の幅広い分野にかかわり、意見や活力が活かされている。	a	b	c	d	e
	Q 8. 青少年がニート※、不登校などの課題に直面したときに信頼して相談できるところがあり、支援がされている。 ※仕事も家事も通学もしていない15歳から概ね34歳までのひと	a	b	c	d	e
市民生活と コミュニティ	Q 9. 町内会、自治会など地域の組織の活動が盛んである。	a	b	c	d	e
	Q 10. 地域のひとが、環境や子育て、青少年の育成などの地域の課題に、自分たちで取り組んでいる。	a	b	c	d	e
	Q 11. 町内会、自治会などの地域の組織の主体的な活動と、それに対する行政の支援とがうまくかみ合っている。	a	b	c	d	e
市民生活の 安全	Q 12. 犯罪や事故など万が一のことがあっても、お互いに助け合えるまちである。	a	b	c	d	e
	Q 13. 事故や犯罪を防ぐための自治会や警察、京都市などの取組により、安全にくらせるまちになっている。	a	b	c	d	e
文化	Q 14. 市民の生活に文化芸術がとけ込んでいる。	a	b	c	d	e
	Q 15. 文化財が社会全体で大切にされ、地域の活性化にもつながっている。	a	b	c	d	e
スポーツ	Q 16. プロスポーツやトップレベルのスポーツに身近に触れる機会がある。	a	b	c	d	e

質 問		選 択 肢				
		そう思う	どちらか という そう思う	どちら とも 言えない	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
産業・商業	Q17. 京都では、さまざまな企業や産業の活動が互いに刺激し合って発展している。	a	b	c	d	e
	Q18. 京都の特色を生かした産業活動が行われている。	a	b	c	d	e
	Q19. 京都では、産業界・大学・行政などが連携して、企業の誘致や事業環境の整備を進めている。	a	b	c	d	e
	Q20. 京都の卸売市場は、安全・安心な生鮮食品の提供に役立っている。	a	b	c	d	e
観光	Q21. じっくり滞在し、ほんものとふれあい、歩いて楽しむ観光客が増えている。	a	b	c	d	e
	Q22. 京都市民は、四季折々の京都観光を楽しんでいる。	a	b	c	d	e
	Q23. 子ども連れの家族や若者、ビジネス客など、新たな京都ファンが増えている。	a	b	c	d	e
	Q24. 京都は、国際会議などが盛んに開かれる MICE※都市になってきている。 ※企業のミーティング、企業研修旅行、国際会議、イベントなどの総称	a	b	c	d	e
農林業	Q25. 京都の農林業は、環境に負荷をかけない栽培の取組や森林の整備を通して、地域社会に役立っている。	a	b	c	d	e
大学	Q26. 京都では、世界から留学生や研究者が集まり、国際社会で活躍する人材が育っている。	a	b	c	d	e
	Q27. 学生は、京都において社会で活躍する力を養い、そのパワーで京都のまちを活性化している。	a	b	c	d	e
国際化	Q28. 京都には、世界から観光、留学、ビジネス等を目的として訪れるひとびとを引き寄せる魅力と、受入環境がある。	a	b	c	d	e
	Q29. 国籍、民族、文化等が違っていても互いに理解し合い、ともにいきいきとくらするまちになっている。	a	b	c	d	e
子育て支援	Q30. 子どもの見守り活動など、身近な地域で子どもとの交流や子育て支援の取組が進んでいる。	a	b	c	d	e
	Q31. 必要なときに健康相談を受けたり、病院に行けたり、安心して子どもを生み育てることができる。	a	b	c	d	e
	Q32. 子どもたちが安心して過ごせる居場所や遊び場が身近にある。	a	b	c	d	e
福祉 障害者	Q33. 障害のあるひとが、みずから必要な福祉サービスを選択し利用することで、住み慣れた地域でくらしやすくなっている。	a	b	c	d	e

質 問		選 択 肢				
		そう思う	どちらか という そう思う	どちら とも 言えない	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
質問内容について、実感やイメージがわからない場合は、空欄のままに しておいてください。						
福祉 障害者	Q34. 働く場で、障害のあるひとがいきいきと働く姿を多く 見かけるようになっている。	a	b	c	d	e
地域福祉	Q35. 地域福祉活動などのボランティア活動に参加しやすい 地域づくりが進んでいる。	a	b	c	d	e
	Q36. 地域のつながりが、福祉活動や防犯・防災の取組に役 立っている。	a	b	c	d	e
高齢者福祉	Q37. 高齢者が敬われ、心身ともに健康で充実したくらしを 送れている。	a	b	c	d	e
	Q38. 介護サービスや住環境整備などが充実し、高齢者が住 み慣れた地域でそのひとらしいくらしを送れている。	a	b	c	d	e
保健衛生・医療	Q39. 正しい情報を基に、健康づくりに取り組む人が増えて いる。	a	b	c	d	e
	Q40. 安心して食べられる食品が手に入るなど、衛生的な生 活環境が整っている。	a	b	c	d	e
	Q41. 感染症や食中毒等の健康危機に対し、安全と安心が確 保されている。	a	b	c	d	e
学校教育	Q42. 安全快適な学校施設や最新の設備など、充実した教育 環境が整っている。	a	b	c	d	e
	Q43. 子どもたちが参加できる、さまざまな学びやスポーツ、 体験活動の機会がある。	a	b	c	d	e
生涯学習	Q44. 京都には、大学や博物館、神社仏閣、企業、NPOな どが提供する学習機会が豊富にある。	a	b	c	d	e
	Q45. 地域での取組において、幅広い世代がともに学べる機 会が充実している。	a	b	c	d	e
歩くまち	Q46. 京都では、過度な自動車利用を控え、歩くことを中心 としたライフスタイル（くらし方、生き方）が大切に されている。	a	b	c	d	e
	Q47. 京都での移動には公共交通が便利である。	a	b	c	d	e
	Q48. まちなかや観光地において、自動車による渋滞が減っ ている。	a	b	c	d	e
都市機能	Q49. 田の字地域※や京都駅の周辺は、にぎわいのある魅力 的な地域である。 ※河原町通、烏丸通、堀川通、御池通、四条通、五条通 の幹線道路沿道地区	a	b	c	d	e
	Q50. 京都のまちの南部地域が発展してきている。	a	b	c	d	e

質 問		選 択 肢				
		そう思う	どちらか という そう思う	どちら とも 言えない	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
機能都市	Q51. 身近な地域が魅力的になっている。	a	b	c	d	e
	Q52. 身近に誇りや愛着を持てる町並みや風景がある。	a	b	c	d	e
景観	Q53. 大通りや歴史的地区から電柱が取り除かれ、美しい公共空間が増えている。	a	b	c	d	e
	Q54. 建物を新築するときは、建築ルールが守られている。	a	b	c	d	e
建築物	Q55. 地震や火災に強い建物が増えている。	a	b	c	d	e
	Q56. 長く大切に使える住宅が増えている。	a	b	c	d	e
住宅	Q57. 身近な地域で空き家が減っている。	a	b	c	d	e
	Q58. 災害時も安全に移動できる道路網ができています。	a	b	c	d	e
道と緑	Q59. 市内の道路や橋が、市民の財産として、よい状態で管理されている。	a	b	c	d	e
	Q60. 身近なところで防火意識が高まり、出火防止の取組が進んでいる。	a	b	c	d	e
消防・防災	Q61. 消防署は、火災や事故などが発生した場合に適切に対応し、いざというときに頼りになる。	a	b	c	d	e
	Q62. 応急手当の知識や技術を備えたひとが増えている。	a	b	c	d	e
くらしの水	Q63. 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。	a	b	c	d	e
	Q64. 水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道サービスは向上している。	a	b	c	d	e
	Q65. 水や水辺環境が大切にされるなど、水と共に生きる意識が高まっている。	a	b	c	d	e

政策重要度

京都市では、次のような各分野の政策に取り組んでいます。

それぞれの政策分野が、**あなたにとって今**、どれだけ重要か、5つの選択肢の中から1つ選んで○を付けてください。頂いた回答については、今後の市政運営に活用させていただきます。

分野・政策名 ※ []は、京都市基本計画の各政策分野でめざす方向性を示す キャッチフレーズです。	選 択 肢				
	重要 である	どちらか という と重要 である	どちら とも 言えない	どちらか という と重要では ない	重要では ない
1 環境 [自然環境を気遣う「環境にやさしいまち」をめざす]	a	b	c	d	e
2 人権・男女共同参画 [ひとりひとりが尊重される社会をめざす]	a	b	c	d	e
3 青少年の成長と参加 [若き市民とともに未来の京都を築く]	a	b	c	d	e
4 市民生活とコミュニティ [住民同士がつながり、おもしろい、地域みんなで築く暮らし やすいまちをめざす]	a	b	c	d	e
5 市民生活の安全 [地域が支え合う、だれもが安心してくらせるまちをめざす]	a	b	c	d	e
6 文化 [世界的な文化芸術都市として創生することをめざす]	a	b	c	d	e
7 スポーツ [スポーツやレクリエーションに親しむ機会に恵まれたまちを めざす]	a	b	c	d	e
8 産業・商業 [新たな価値をつくる都市をめざす]	a	b	c	d	e
9 観光 [いよいよ旅の本質へ 世界が共感する観光都市をめざす]	a	b	c	d	e
10 農林業 [ひとと生命と環境を育む京の農林業をめざす]	a	b	c	d	e
11 大学 [大学の集積が都市の活力を支え高めるまちをめざす]	a	b	c	d	e
12 国際化 [住むひとにも、訪れるひとにも魅力的な国際都市をめざす]	a	b	c	d	e
13 子育て支援 [市民ぐるみ・地域ぐるみで子どもを共に育むまちづくりを 進める]	a	b	c	d	e
14 障害者福祉 [障害のあるひともないひとも、すべてのひとが違いを認め合 い、支え合うまちづくりを推進する]	a	b	c	d	e

分野・政策名 ※ []は、京都市基本計画の各政策分野でめざす方向性を示す キャッチフレーズです。	選 択 肢				
	重要 である	どちらか という と重要 である	どちら とも 言えない	どちらか という と重要では ない	重要では ない
15 地域福祉 [自治・協働により自立を実現し、地域の福祉力をつむぎ、 高める]	a	b	c	d	e
16 高齢者福祉 [「健康長寿のまち・京都」をみんなでつくる]	a	b	c	d	e
17 保健衛生・医療 [いきいきと健やかな「笑顔・健康都市」京都を実現する]	a	b	c	d	e
18 学校教育 [市民ぐるみで子どもたちに「生きる力」を育むまちをつくる]	a	b	c	d	e
19 生涯学習 [まち全体をまなびやに 大人も子どもも学び育つまちを つくる]	a	b	c	d	e
20 歩くまち [ひとと公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現を図る]	a	b	c	d	e
21 土地利用と都市機能配置 [地域ごとに魅力があり、持続的な都市活動を支えるエコ・ コンパクトな都市をつくる]	a	b	c	d	e
22 景観 [1200年の歴史・文化を実感でき、世界のひとびとを 魅了し続けるまちとなる]	a	b	c	d	e
23 建築物 [建築物の安全の確保と質の向上で、ひとにやさしく、安心な まちをつくる]	a	b	c	d	e
24 住宅 [ひとがつながる 未来につなぐ 京都らしいすまい・ まちづくりを継承・発展させる]	a	b	c	d	e
25 道と緑 [風土や歴史と調和した道と緑を創造する]	a	b	c	d	e
26 消防・防災 [災害に強く安心して住み続けられる「安心都市・京都」を めざす]	a	b	c	d	e
27 くらしの水 [ひと まち くらしを支える京の水をあすへつなぐ]	a	b	c	d	e

市政関心度

あなたは京都市政に関心がありますか。次の中から1つ選^ひ〇を付けてください。

1. 関心がある	2. 少しは関心がある	3. あまり関心がない
4. まったく関心がない	5. わからない	

幸福実感

今、あなたは幸せだと思いますか。次の中から1つ選び○を付けてください。

- | | | |
|---------------------|------------------|--------------|
| 1. とても幸せだと思う | 2. どちらかという幸せだと思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. どちらかという幸せではないと思う | 5. 不幸せだと思う | |

自由記述

市に望むこと、このアンケートに関すること、その他何でも結構です。ご意見、ご提案がございましたら、ご記入ください。（特に、アンケートで無回答、「そう思わない」又は「どちらとも言えない」とのご回答があった場合、その理由をお聞かせいただければ幸いです。）

◇ 最後に、あなたご自身のことについてお尋ねします。次の①～⑤の各項目について、該当する番号を1つ選び○を付けてください。

① 性別

1. 男 2. 女

② 年齢

1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代
5. 60歳代 6. 70歳代 7. 80歳以上

③ 職業

1. 自営業・自由業 2. 会社員・公務員等給与所得者 3. 主婦・主夫
4. 学生 5. 無職 6. その他（ ）

④ 居住区

1. 北区 2. 上京区 3. 左京区 4. 中京区 5. 東山区 6. 山科区
7. 下京区 8. 南区 9. 右京区 10. 西京区 11. 伏見区

⑤ 京都市での居住年数

1. 5年未満 2. 5～11年未満 3. 11～31年未満 4. 31年以上

アンケートはこれで終了です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて5月27日（水）までに投函をお願いいたします。

これまでの政策評価結果は以下のホームページに掲載しています。

(「政策評価制度」ホームページ

<http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000035589.html>)



京都市の政策評価に関する御意見・御提案をお待ちしています。

- ホームページ内の送信フォームによる受付

(「市民意見申出制度」ホームページ

<http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000110785.html>)



- 電話・FAXによる受付

京都市総合企画局市長公室政策企画担当

TEL : 075-222-3035 FAX : 075-213-1066